

宜野湾高校の生徒達へ（４２）

2020.9.10

『宜野湾高校の生徒達へ（４１）』で、女生徒の詩を紹介した。この女生徒は次の文章も書いていた。今から、１７年前のものだが、今の高校生にも通じるものがあるのではないか？

これから私は、まだまだ成長しつづけていく。

さっきの詩にも書いたように「努力」それを「継続」させていける人になる。
やらされる３時間よりも自ら進んでやる１時間の価値を知っている。

疲れた時はやすんだっていい。
つまずいたら止まって足元をながめてみる。
原因を確かめることができたなら、またゆっくり歩きだせばいい。
そう思っている。

自分のペースで少しずつ少しずつ大人になっていく。
心も体も大きくなっていく。

この自分史を作り終えてみて、
今までびみょうだった自分の進路をきちんと考えることができた。
まだはっきり強くは見えてこないけど、
ぼんやり自分のやりたいことをさがしだせたような気がする。

人の力になりたいと、
学校の勉強よりも、野球のこと、スポーツのこと、けがのことを勉強してきたけど、
これからの人生、ずっと人の役に立ちたいなら、
今やるべきことはそういうことじゃないんだって思った。
いっぱい勉強してそういう仕事につけばいいんだって思った。

だから頑張る。

テストでいい点をとるだけが能じゃないけど、
テストでいい点をとらなければ前に進めない。
やりたいことができないんだって気づいた。

これからの道はまだまだ長くて、どんなことがおこるかわからない。

でもどんな時だって、目標をもって前を向いて頑張っていきます(^_^)